

① 11:00 pm頃
 ④ 9:00 am
 ③ 6:00 am
 ⑤ 8:40 am
 ② 16:30 ~ 17:00 pm

岩屋岩蔭遺跡巨石群
 岐阜県指定文化財 (昭和48年)
 『岩屋岩蔭遺跡』縄文時代の史跡
 ここには鎌倉時代の比叡山伝説が残ります

いっしょにわが
**岩屋岩蔭遺跡
 巨石群**
 ①冬至の頃の観測
 ②春分/秋分の頃
 (含む太陽光の観測)

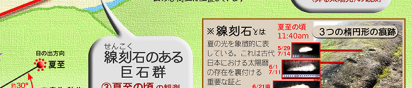
約1000年前の遺跡に
 スポットライト照らし込みます

とうじ
冬の日の入方向

金山巨石群から見た日の出・日の入り方向

金山巨石群では
 次のような節目の時期を観測できます

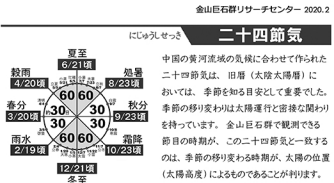
金山巨石群から見た
 年間の太陽の動き



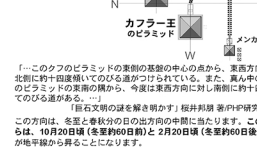
巨石群配列中の構造と太陽運行との関係から、夏至から冬至までの太陽軌跡を4等分した節目の時期を知る事ができます。これは中国(黄河流域)の気候に合わせて作られた二十四節気の節目の時期や、エジプトにあるギザの三大ピラミッドや、アブ・シンバル神殿と異なる太陽光の質の違いと共通点があります。(右ページ参照)



エジプト遺跡との共通性



アブ・シンバル神殿



古埃及エジプト太陽暦



★教材・高等学校 世界史実用者資料集『図説 世界史(平成20年)』教育図書出版 掲載記事より
 P4 序章 世界史への扉 / 留史の歴史コラム

日本における古代理学観測の証し - 金山巨石群と太陽暦 -
 金山巨石群 (岐阜県下呂市金山町 推定2500年前) は「岩屋岩蔭遺跡巨石群」「線刻石のある巨石群」「東の山巨石群」からなる。いずれも同じような観測方法により太陽運行を、各節目の時期を知るための観測台の役割を持つ。また、太陽高度と年間日影の長さについて四年を知るための仕組みも存在している。これらの巨石群の中で、唯一記号表現を持つのが「線刻石のある巨石群」である。夏至の頃の太陽軌跡の角度が高度が2本の線刻石に刻かれ、巨石群内に射し込むスポット光の形とサイズが3つの楕円の痕跡に刻られた可能性が高いと思われる。(左ページ ※線刻石参照) こういった研究成果や、周辺地域(御野原・乙原・八坂)に800年前からの住居跡や石環や土器などが多数出土していることから、金山巨石群が太陽暦で機能利用されていたと考えられている。

★教材・小学校 4年生 理科「合格自習 理科4上(平成21年)」『PERSPECTIVE(平成27年)』学業学習社 掲載記事より
 P64 太陽の動きのひみつ②太陽の1年の動き
 P76 太陽の1年の動きと気候の寒暖(1)②/気候の1年の動き

右の写真(左ページの上の写真)は、岐阜県の金山巨石群といく連綿にある岩です。ここには、人工的に配置されたと考えられるたざの岩があり、春分・秋分の頃、夏至の日・冬至の日、特定の日に岩の影が伸びる方向が異なる太陽の光が射しこんで来た。古代において、太陽の動きを記した季節の観測台として可能な存在を有しています。
 季節の移り変わりを、(カブ・アブ)と記した 作像を伝える時期を知り、しづかみを得るため、今も最も大変重要なことなのです。
 『写真の真実の証明』春分・秋分の日出の山へしづかみ太陽を指す巨石群 (太陽が写真より右側へしづかむのは春の時期、左側へしづかむのは冬の時期)

光の体験ツアー開催中!
 岐阜県下呂市金山町から
 大井町へバス送迎あり!

お申込み・お問合せ 金山町観光協会 TEL.080-3637-2201
 【ツアー内容】ガイド付・光の体験 / 昼飯付(ドライブイン・飯山) / ガイド付・飛騨博物館 館内めぐり
 11:30 ~ 16:00 まで / お一人様 3,000 円 (4~9名様の集合)